

証券コード 4750

2026年4月期

# 決算補足説明資料

---

2026年6月2日

株式会社ダイサン

# Reborn 50

## 2025年4月1日 設立50周年を迎えました

この大きな節目を迎えることができましたのは、ひとえに日頃よりご愛顧いただいておりますお客様、地域社会の皆様、株主様、そして関係者の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。従業員一同、50年間の感謝を胸に、当社パーパスである「人と現場を守り抜く」の実現を通じて社会課題の解決に貢献し、新たなステージを目指してより一層努力してまいります。

### 設立50周年 記念行事



#### フットサル大会 —ありがとうのパスをつなごう— 50th Anniversary DAISAN CUP

新たなステージに向けて結束力を高めることを目的に、当社で働く多国籍の従業員が言葉の壁を越えて楽しめる企画としてフットサル大会を実施いたしました。50年間の感謝を込めたコンセプト「ありがとうのパスをつなごう」を掲げ、功労表彰なども行われました。



#### 記念式典

6月11日、インターコンチネンタルホテル大阪にて、設立50周年記念式典を開催しました。式典では、功労者への表彰や、ダイサンの歴史・人・未来に関する企画を行い、多くの従業員ならびに関係者の皆様と紡いだ50年の軌跡を感じるとともに、新たな50年に向けての良き門出となりました。

## 連結範囲の変更

当連結会計年度において、非連結子会社であったGolden Light House Engineering Pte. Ltd.は、重要性が増したため連結の範囲に含めております



### ■ 施工サービス事業

ビケ足場、レボルト等を使用した  
設計、施工サービス



### ■ 製商品販売事業

ビケ足場、レボルト等足場用仮設機材の  
開発・製造・販売および一般仮設材の製造販売



### ■ 海外事業

シンガポールにて主にプラントのメンテナンス向けに、  
足場工事を中心とした熱絶縁工事や電気工事などの  
付帯工事を受注する事業を展開

株式会社ダイサン

Mirador Building  
Contractor Pte. Ltd.

### 連結範囲の変更



Golden Light House  
Engineering Pte. Ltd.

#### 事業内容

従来の海外事業と同じく、シンガポール  
においてプラントのメンテナンスを主と  
した事業を展開

# 目次

- 01 企業概要
- 02 業績ハイライト
- 03 2026年4月期 実績
- 04 次期の見通し
- 05 参考資料

パーパス

## 人と現場を守り抜く

これまでも我々は品質の高い足場提供により、現場で働く人の心身を守ってきた。  
人手不足を始めとした環境変化により、  
建設業界以外でも“働く現場”の課題は変化し続けている。  
ダイサンはイノベーターとして技術・技能を駆使し、現場の課題解決を続ける。  
社会での安全なくらしと関わる全ての人々の幸せを守り抜くために。

社名	株式会社ダイサン
設立	1975年4月
本社所在地	大阪府中央区南本町2丁目6番12号 サンマリオンタワー3階
資本金	1億円
取引市場	株式会社 東京証券取引所 スタンダード市場 証券コード 4750

02

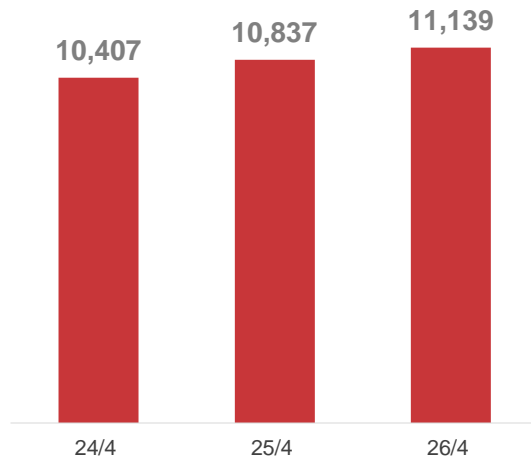
# 業績ハイライト

# 業績ハイライト

## 売上高

**11,139**百万円

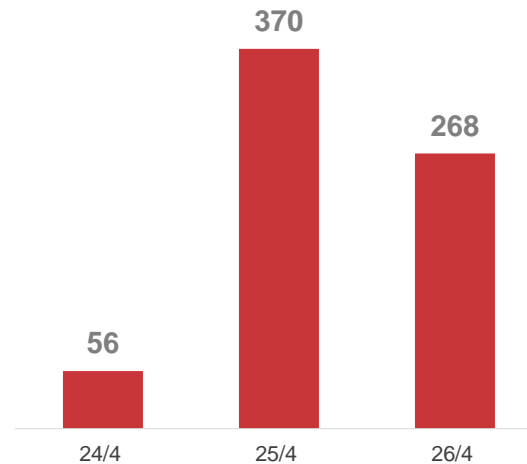
前年同期比 102.8%



## 営業利益

**268**百万円

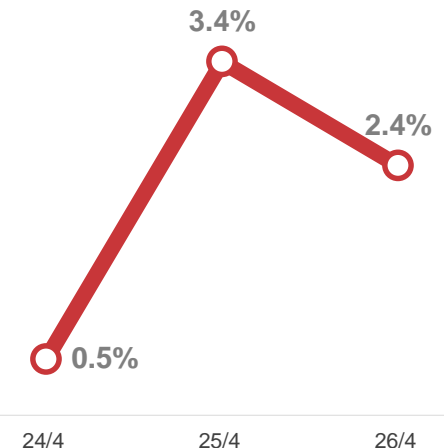
前年同期比 72.5%



## 営業利益率

**2.4%**

前年同期比△1.0pt



売上高は概ね前年同期並みで推移

営業利益は、連結範囲の拡大による増益効果があった一方、国内外での人的資本投資に伴う費用増等の影響により、前年同期比で減少となる

03  
2026年4月期 実績

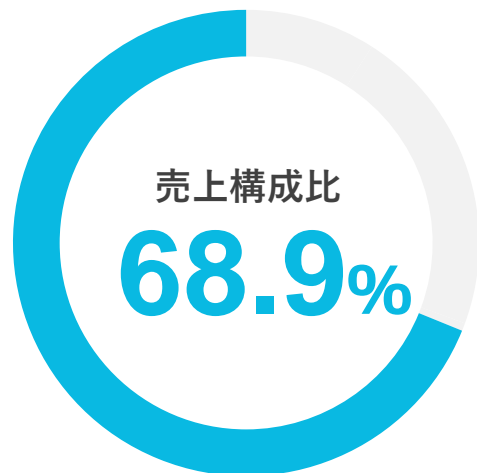
## 連結業績概要

売上高は、施工サービス事業が堅調に推移した一方  
前年に建築基準法改正の影響で増加していた製商品販売事業の反動減もあり、全体としてはわずかに増収  
ベースアップの実施や施工体制強化に伴う人件費増加により、営業利益は前年同期を下回る

(単位：百万円)	(参考) 2025年4月期	2026年4月期	増減	
			増減額	増減比
売上高	10,837	11,139	+301	102.8%
売上原価	7,627	7,935	+307	104.0%
売上総利益	3,210	3,204	△5	99.8%
販管費	2,839	2,935	+95	103.4%
営業利益	370	268	△101	72.5%
経常利益	346	290	△55	84.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	335	262	△73	78.2%

# セグメント業績概要

## 施工サービス事業



ビケ足場、レポルト等を使用した  
設計、施工サービス



売上高

**7,669**百万円

前年同期比 106.0%

## 製商品販売事業



ビケ足場、レポルト、  
枠組み足場等足場用仮設機材の  
開発・製造・販売および一般仮設材の製造販売

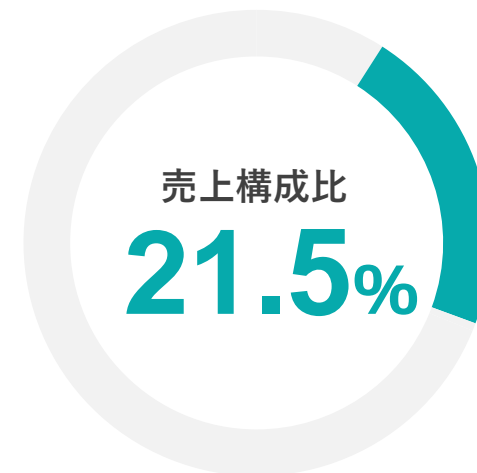


売上高

**1,009**百万円

前年同期比 85.5%

## 海外事業



シンガポールにて  
主にプラントのメンテナンス向けに、  
足場工事を中心とした熱絶縁工事や  
電気工事などの付帯工事を受注する事業を展開



売上高

**2,399**百万円

前年同期比 101.5%

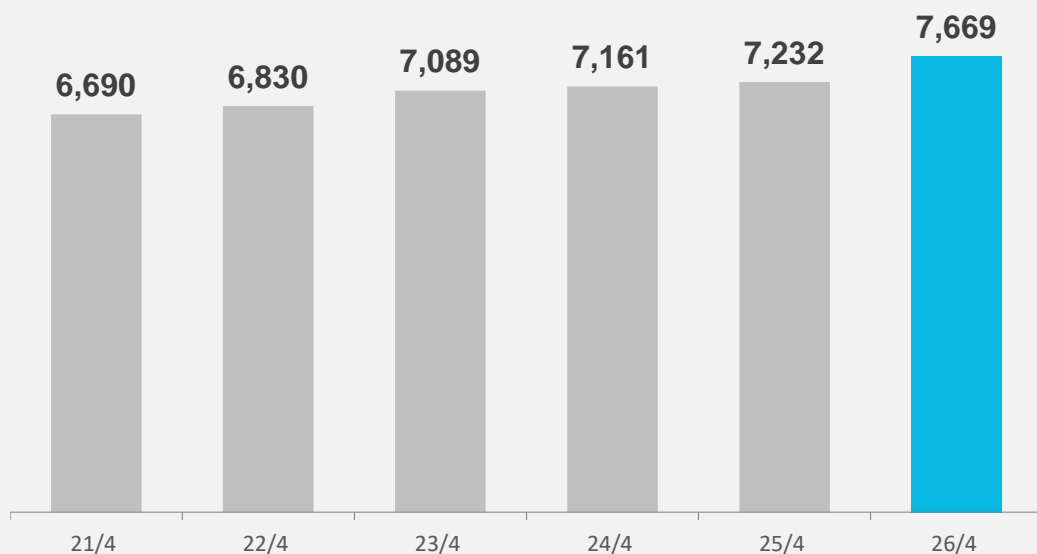
その他 業務受託及び保険代理店ほか

# 施工サービス事業 業績概要

(単位：百万円)	(参考) 2025年4月期	2026年4月期	増減	
			増減額	増減比
売上高	7,232	7,669	+437	106.0%
売上総利益	2,133	2,118	△15	99.3%

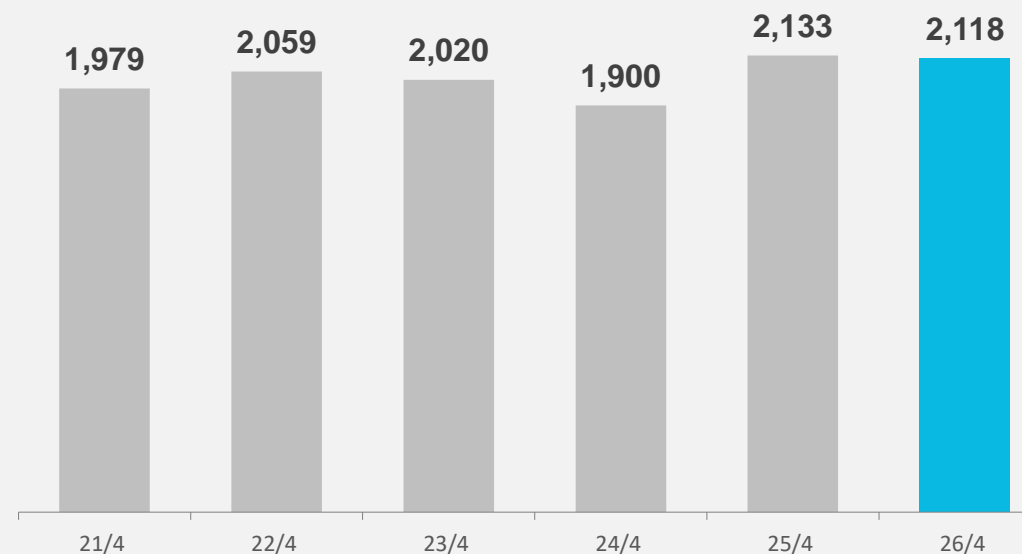
(単位：百万円)

## 売上高



(単位：百万円)

## 売上総利益



# 施工サービス事業 商品別売上高



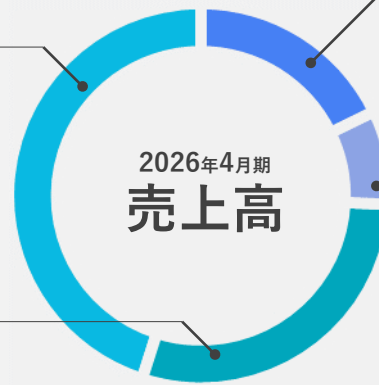
**注文住宅 45.1%**

主に施主様が土地を購入し、  
建物を建築する際の足場  
※1棟の受注が多い



**リフォーム 29.2%**

増改築工事、外装工事などの  
リフォーム現場向け足場



**大型建築物 17.8%**

マンション、工場、店舗などの  
大型建築物向け足場

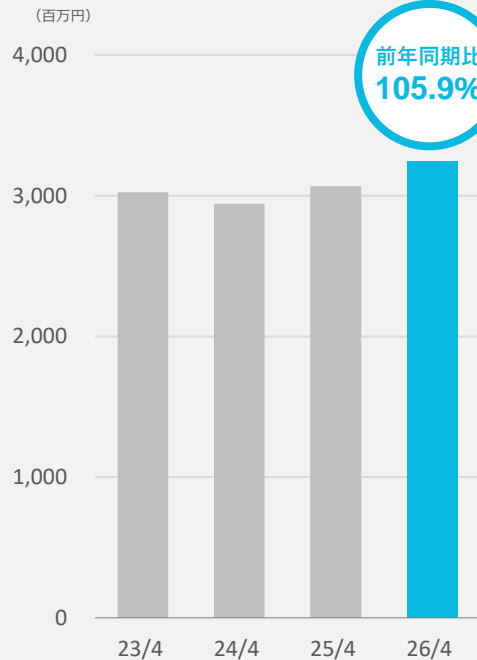


**分譲住宅 7.9%**

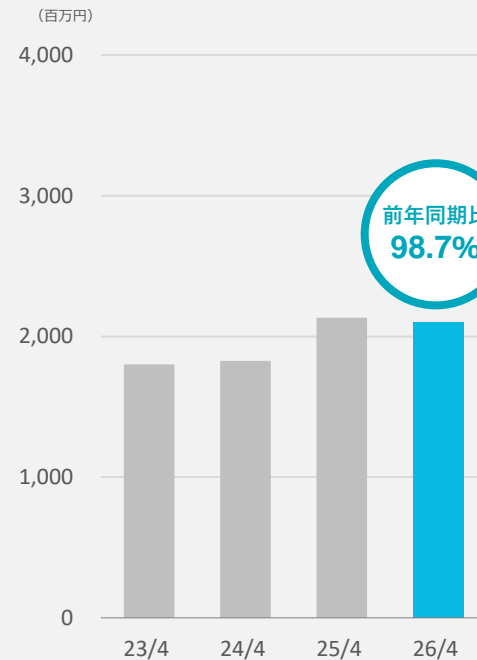
主に不動産会社が土地を購入し、  
建物を建築する際の足場  
※複数棟の受注が多い



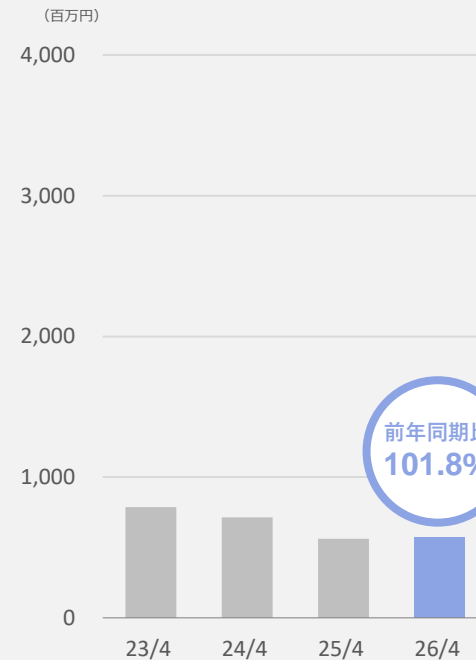
## 注文住宅



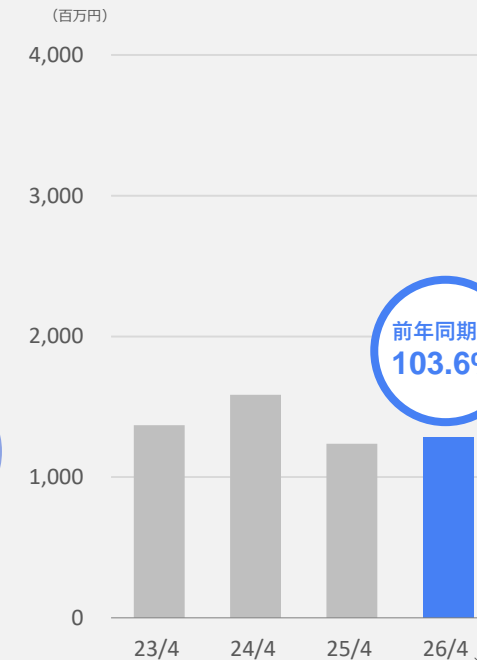
## リフォーム



## 分譲住宅



## 大型建築物



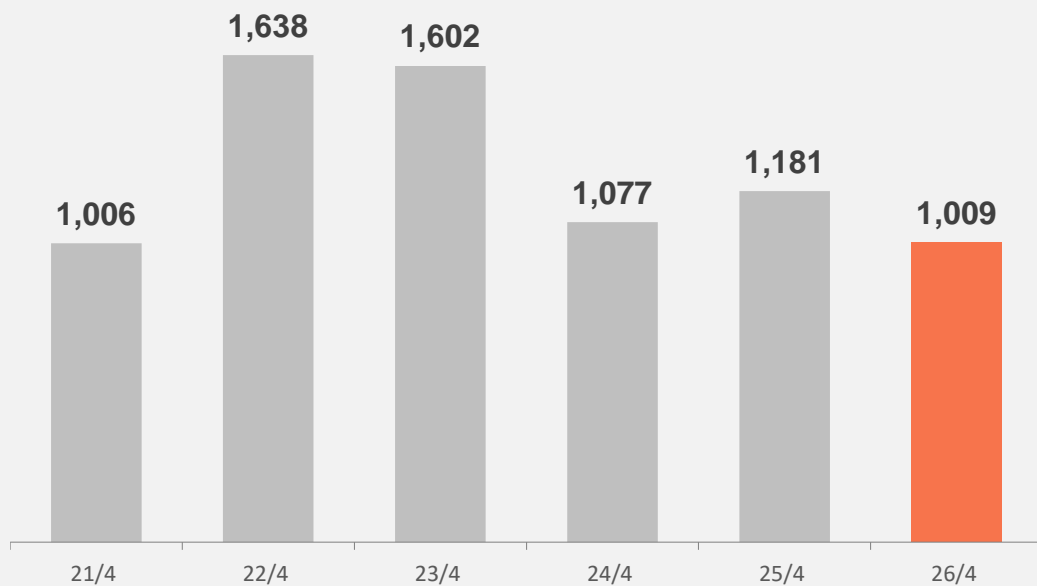
※足場施工及び現場賃借品の推移

# 製商品販売事業 業績概要

(単位：百万円)	(参考) 2025年4月期	2026年4月期	増減	
			増減額	増減比
売上高	1,181	1,009	△171	85.5%
売上総利益	301	275	△25	91.4%

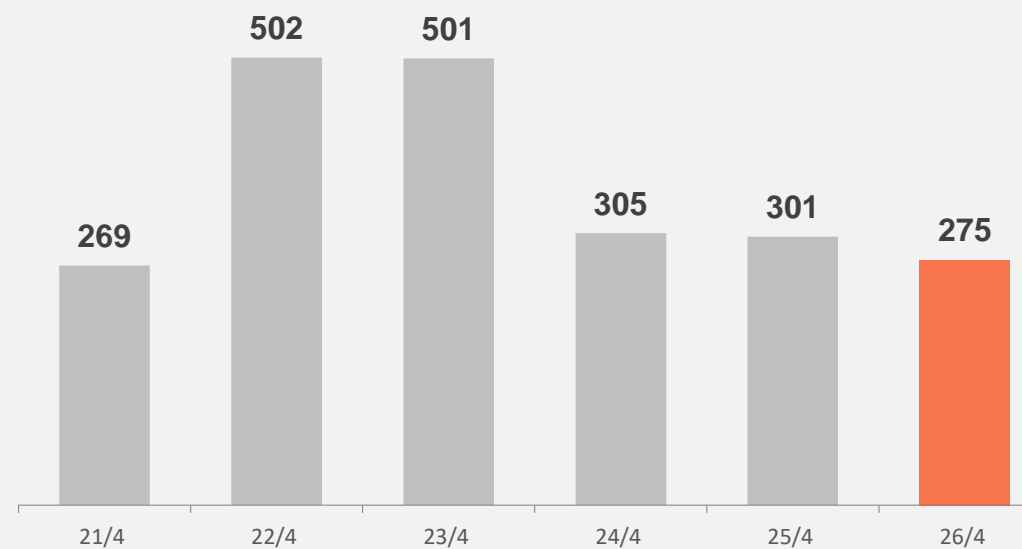
(単位：百万円)

## 売上高



(単位：百万円)

## 売上総利益



# 製商品販売事業 商品別売上高

ビケ部材等 **70.9%**

当社が製造する「ビケ足場」  
「レボルト」の各種部材等

主な市場

住宅向け …

**ビケ足場**

中層大型建築物向け …

**Le-volt**  
レボルト

2026年4月期  
売上高

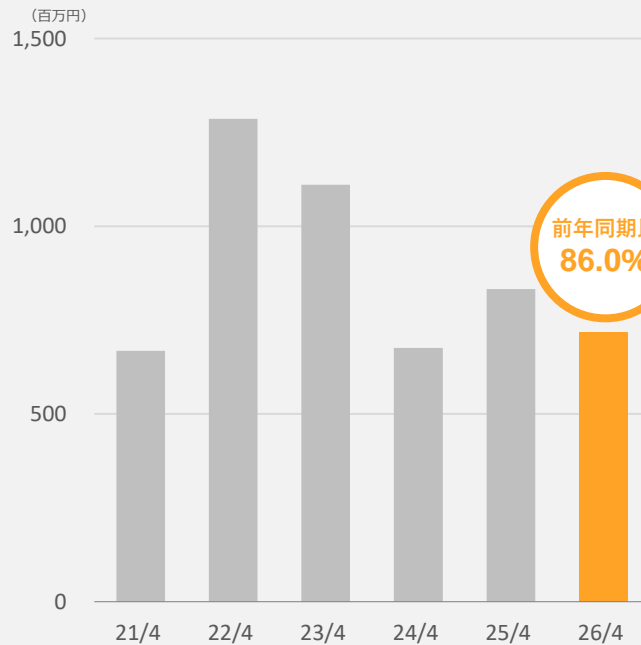
一般仮設材 **29.1%**

ビルなどの中高層建築工事や  
橋梁などの土木工事で使われる  
一般仮設材

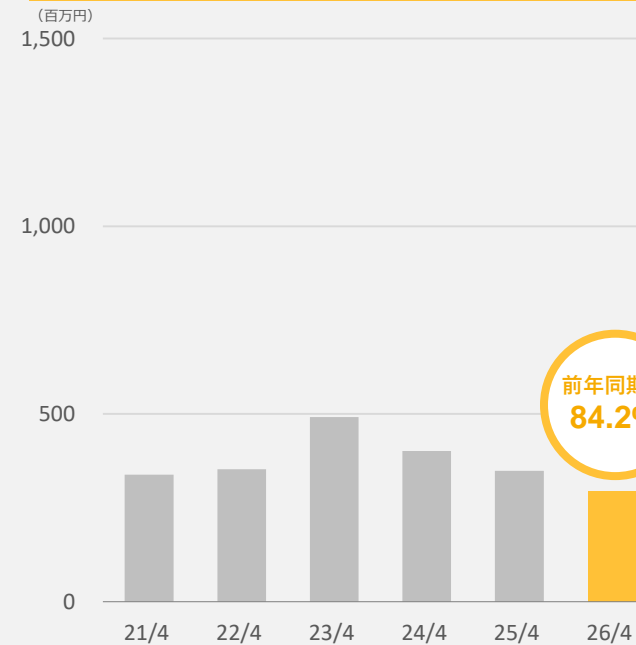


クランプ  
メッシュシート 他

ビケ部材等



一般仮設材

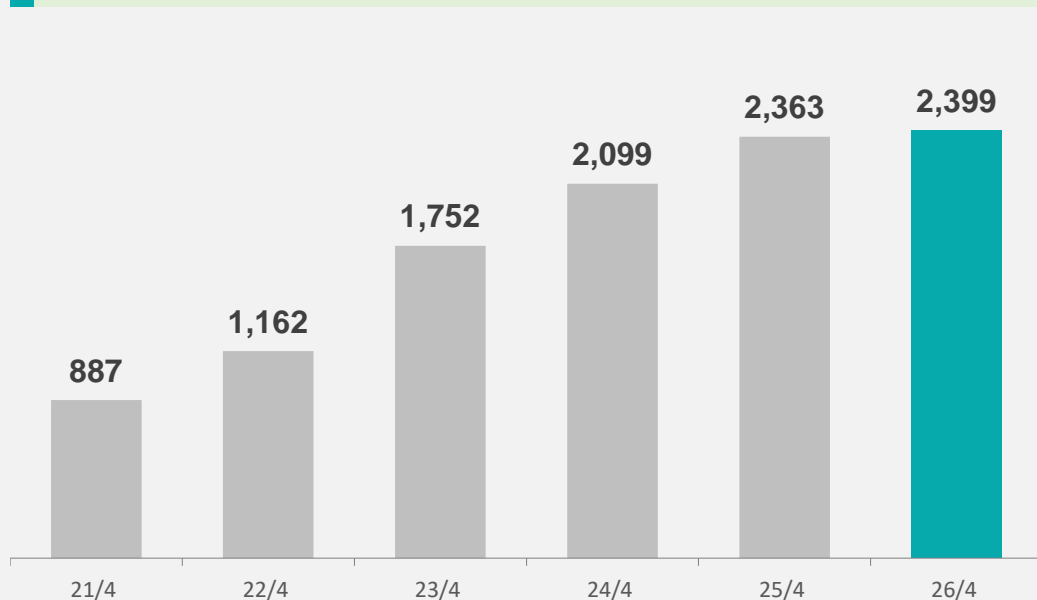


# 海外事業 業績概要

(単位：百万円)	(参考) 2025年4月期	2026年4月期	増減	
			増減額	増減比
売上高	2,363	2,399	+35	101.5%
売上総利益	724	756	+32	104.4%

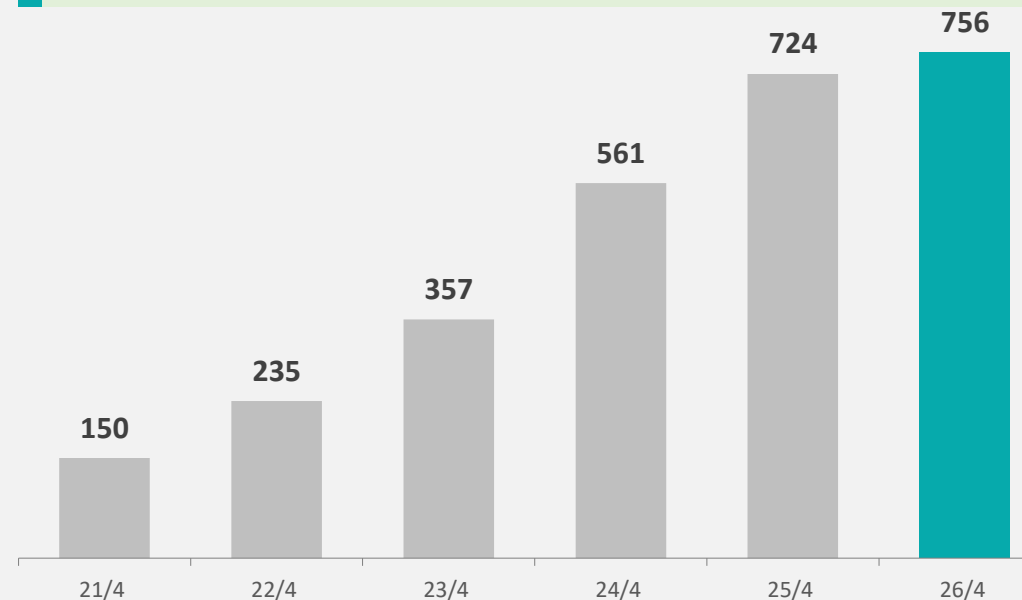
(単位：百万円)

## 売上高



(単位：百万円)

## 売上総利益

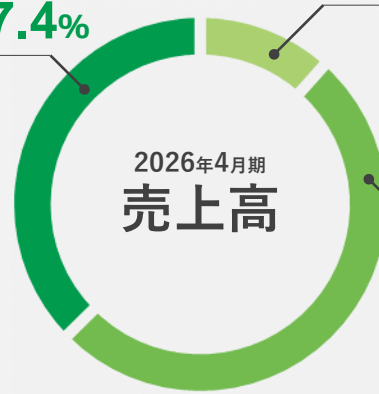


# 海外事業 商品別売上高



プラントオペレーション **37.4%**

プラントの維持、メンテナンス  
灰輸送など



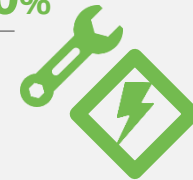
清掃その他 **11.6%**

ビル、オフィス等の清掃業



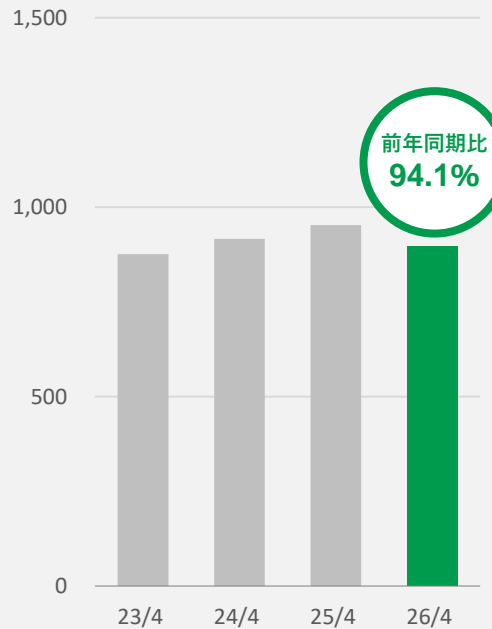
エンジニアリング **51.0%**

足場工事、熱絶縁工事や  
電気工事など



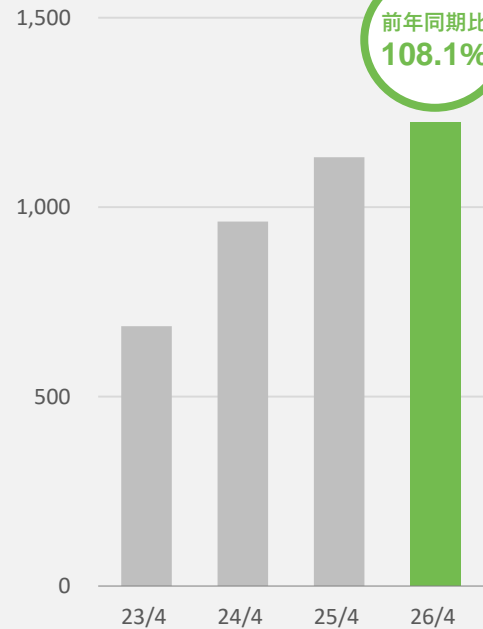
## プラントオペレーション

(百万円)



## エンジニアリング

(百万円)



## 清掃 その他

(百万円)



## 財政状態

将来の成長投資および機動的な資金需要に備えた資金調達を実施したことなどにより、手元流動性が向上。海外事業における不動産売却に伴い固定資産は302百万円減少し、総資産は前期並みの水準を維持。

(単位：百万円)	2025年4月期	2026年4月期	増減額
流動資産	6,456	6,747	+290
固定資産	3,735	3,433	△302
資産合計	10,192	10,180	△11
流動負債	4,038	3,953	△84
固定負債	587	501	△86
純資産	5,566	5,726	+159
負債・純資産合計	10,192	10,180	△11
自己資本比率	54.6%	56.2%	+1.6pt
1株当たり純資産	868.01円	892.93円	+24.92円

# キャッシュ・フロー

(単位：百万円)	(参考)	
	2025年4月期	2026年4月期
税金等調整前当期純利益	380	350
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,374	590
投資活動によるキャッシュ・フロー	40	203
財務活動によるキャッシュ・フロー	△910	△355
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	27
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	517	464
現金及び現金同等物の期首残高	1,697	2,219
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	-	4
非連結子会社との合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	5	-
現金及び現金同等物の期末残高	2,219	2,689

## 主な増減理由

### ● 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益350百万円  
減価償却費291百万円  
棚卸資産の減少額149百万円  
法人税等の支払額130百万円

### ● 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の売却による収入285百万円  
保険積立金の解約による収入121百万円  
有形固定資産の取得による支出41百万円  
貸付による支出102百万円

### ● 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入れによる収入200百万円  
長期借入金の返済による支出226百万円  
リース債務の返済による支出170百万円  
配当金の支払額156百万円

04

# 次期の見通し

# 次期の見通し 後発事象：Penguin Engineering & Construction Pte. Ltd.の株式取得

## 海外子会社との高い事業親和性を背景としたグループ体制の強化

世界的石油メジャーからの案件を長年担うなど、堅固な顧客基盤と高い技術力を有するシンガポールのエンジニアリング企業を100%子会社化。

当社海外子会社で強化を進めるエンジニアリング領域との親和性が高く、双方の強みを掛け合わせたシナジー創出が可能に。



### 会社概要

社名	Penguin Engineering & Construction Pte. Ltd.
設立	1980年9月
所在地	Block 153, Bukit Batok Street 11 #03-294, Singapore 650153
資本金	200,000 シンガポールドル(25,020千円)
事業内容	エンジニアリング事業（配管・溶接・メカニカル等のプロジェクト工事）

### 業績

売上高	営業利益
<b>506</b> 百万円	<b>122</b> 百万円

※2025年12月期（未監査）ベース

### 議決権所有割合

**100%**

※日本円への換算レートは、1シンガポールドル=125円10銭（2026年4月21日時点）で計算

ニュースリリース：<https://www.daisan-g.co.jp/file/ir/library/qfysbjyced.pdf>

## 次期の見通し

中東情勢をはじめとする地域紛争による国際情勢不安に加え、米国の通商政策をめぐる動向や金融・為替市場の変動など、依然として不確実性の高い状況が続いております。また、エネルギー価格、原材料価格及び物流費等の各種コストへの影響についても、引き続き注視が必要な状況が続くものと見込まれます。

国内においては、雇用・所得環境の改善などを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移するものと見込まれます。しかしながら、物価上昇の継続や金利・為替の変動に加え、原材料価格や調達コストの高止まりも懸念され、先行きは不透明な状況が続くものと思われま。また、建設業界においては、少子高齢化に伴う人口減少や熟練技術者の引退による労働者不足が継続しており、施工力の確保及び人材の採用・育成に向けた取り組みが益々重要となっております。

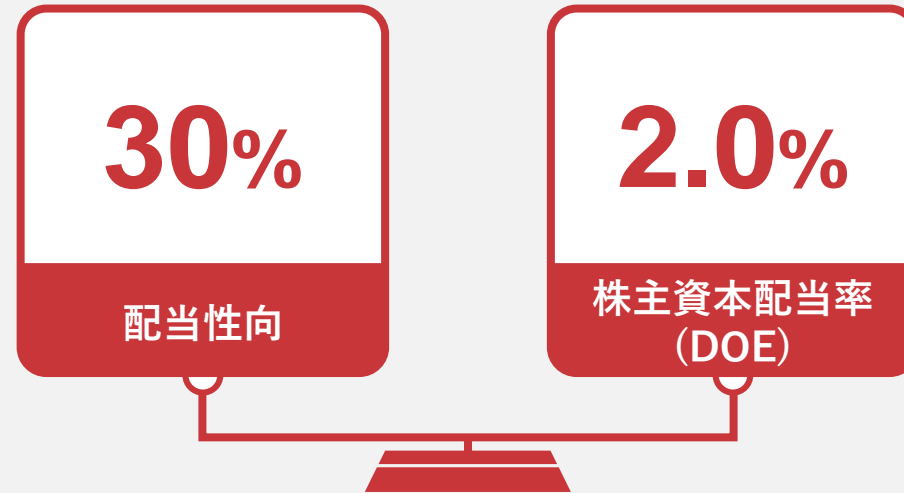
これら国内外の経済見通しを踏まえ、当社グループでは次期を3年目とする5か年の第4次中期経営計画として「Reborn」を方針に掲げ、建設業界のイノベーションを創出し、継続的な事業拡大と持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

(単位：百万円)	(参考) 2026年4月期	2027年4月期 予想	増減	
			増減額	増減比
売上高	11,139	12,000	+860	107.7%
営業利益	268	280	+11	104.1%
経常利益	290	220	△70	75.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	262	130	△132	49.6%

# 次期の見通し 配当方針

## 基本方針

当社は、利益配分に関しましては、企業価値の向上と株主の皆様への還元の結びつきをより明確にできるよう、配当性向30%、もしくは株主資本配当率DOE 2.0%のうち、いずれか高い方を下限として利益配分させていただくことを基本方針としております。



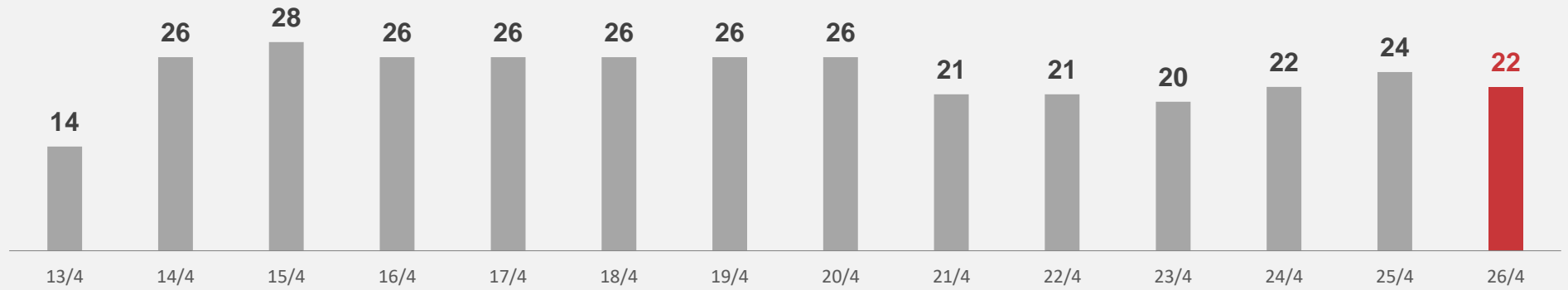
いずれか高い方を下限として利益配分

これらの方針により、次期の配当金は、中間11円、期末11円の1株当たり年間配当金22円とさせていただく予定であります。

# 次期の見通し 配当方針

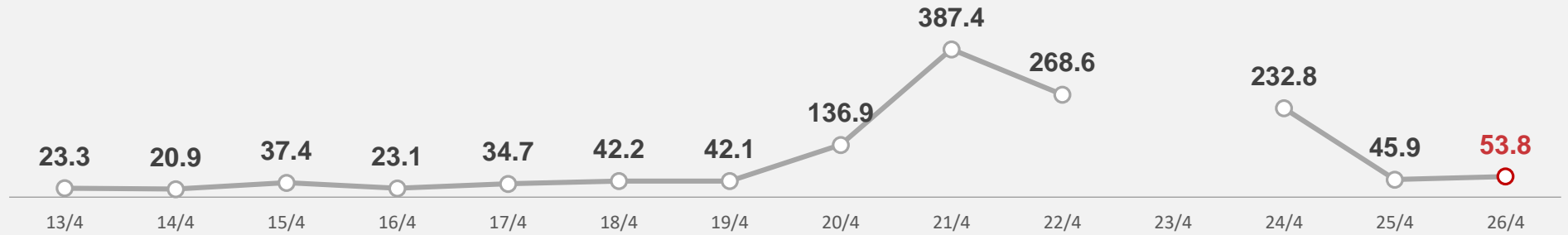
(単位：円)

1株当たり  
配当金



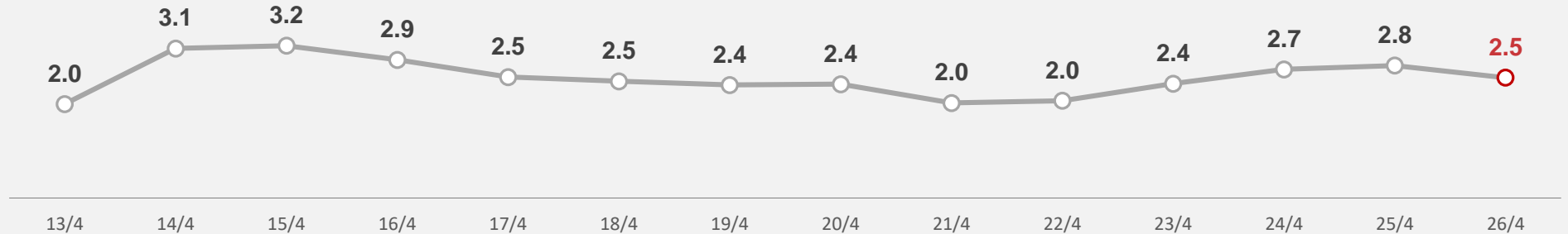
(単位：%)

配当性向



(単位：%)

株主資本配当率  
(DOE)



株主資本については、配当による流出前の値を使用しております。

05

# 參考資料

## 参考資料

	(百万円)	20/4	21/4	22/4	23/4	24/4	25/4	26/4
売上高		9,499	8,653	9,700	10,512	10,407	10,837	11,139
売上原価		6,549	6,203	6,850	7,577	7,586	7,627	7,935
売上総利益		2,949	2,450	2,849	2,934	2,821	3,210	3,204
販売費及び一般管理費		2,683	2,581	2,866	2,998	2,764	2,839	2,935
営業利益又は営業損失		265	△131	△16	△63	56	370	268
経常利益又は経常損失		257	177	79	△1	37	346	290
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失		121	34	50	△1,016	60	335	262
総資産		10,397	10,000	10,216	10,097	10,372	10,192	10,180
棚卸資産		868	952	1,222	1,317	1,199	913	764
流動資産		5,381	5,154	5,783	6,182	6,628	6,456	6,747
固定資産		5,015	4,846	4,433	3,914	3,743	3,735	3,433
流動負債		2,064	2,131	2,682	3,794	4,173	4,038	3,953
固定負債		1,321	1,155	967	923	844	587	501
自己資本		6,867	6,645	6,533	5,379	5,354	5,566	5,726
資本合計/純資産合計		7,012	6,713	6,566	5,379	5,354	5,566	5,726
資本金		566	566	566	100	100	100	100
負債・純資産合計		10,397	10,000	10,216	10,097	10,372	10,192	10,180
営業活動によるキャッシュ・フロー		319	△14	△36	△439	312	1,374	590
投資活動によるキャッシュ・フロー		△1,165	△114	175	△415	143	40	203
財務活動によるキャッシュ・フロー		584	△468	△258	680	△61	△910	△355
フリー・キャッシュ・フロー		△845	△129	138	△854	455	1,414	793

## 参考資料

		20/4	21/4	22/4	23/4	24/4	25/4	26/4
期末発行済株式数（自己株式を除く）	（株）	6,412,889	6,412,888	6,412,888	6,412,838	6,412,838	6,412,838	6,412,838
期中平均株式数	（株）	6,412,889	6,412,888	6,412,888	6,412,868	6,412,838	6,412,838	6,412,838
株価（最高）	（円）	713	730	678	650	639	670	667
株価（最低）	（円）	557	573	582	554	549	500	533
EPS（1株あたり当期純利益）	（円）	18.99	5.42	7.82	△158.55	9.45	52.28	40.89
BPS（1株あたり純資産額）	（円）	1,070.83	1,036.22	1,018.82	838.82	834.95	868.01	892.93
PER（株価収益率）	（倍）	33.27	121.76	77.25	-	60.53	10.65	14.09
PBR（株価純資産倍率）	（倍）	0.59	0.64	0.59	0.69	0.69	0.64	0.65
1株当たり配当金	（円）	26.00	21.00	21.00	20.00	22.00	24.00	22.00
配当性向	（％）	136.9	387.4	268.6	-	232.8	45.9	53.8
EBITDA	（百万円）	496	132	263	315	271	646	565
売上原価率	（％）	68.95	71.68	70.62	72.09	72.89	70.38	71.24
営業利益率	（％）	2.80	-	-	-	0.54	3.42	2.41
経常利益率	（％）	2.71	2.05	0.82	-	0.36	3.19	2.61
親会社株主に帰属する当期純利益率	（％）	1.28	0.40	0.52	-	0.58	3.09	2.35

EPS(1株あたり当期純利益) = 普通株式に係る当期純利益 ÷ (普通株式の期中平均発行済株式数 - 普通株式の期中平均自己株式数)

BPS(1株あたり純資産額) = 普通株式に係る期末の純資産額 ÷ (期末の普通株式の発行済株式数 - 期末の普通株式の自己株式数)

PER = 期末株価 ÷ 1株あたり当期純利益

PBR = 期末株価 ÷ 1株あたり純資産額

配当性向 = 1株あたり配当金支払額 ÷ 1株あたり当期純利益 × 100

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

売上原価率 = 売上原価 ÷ 売上高 × 100

営業利益率 = 営業利益 ÷ 売上高 × 100

経常利益率 = 経常利益 ÷ 売上高 × 100

当期純利益率 = 当期純利益 ÷ 売上高 × 100

## 参考資料

		20/4	21/4	22/4	23/4	24/4	25/4	26/4
有利子負債残高	(百万円)	1,502	1,419	1,498	2,675	2,997	2,469	2,442
営業キャッシュ・フロー対有利子負債比率	(年)	4.70	-	-	-	9.59	1.80	4.14
フリー・キャッシュ・フロー対有利子負債比率	(年)	-	-	10.81	-	6.58	1.75	3.08
インタレスト・ガバレッジ・レシオ(営業CF)	(倍)	26.19	-	-	-	9.21	52.78	10.22
インタレスト・ガバレッジ・レシオ(フリーCF)	(倍)	-	-	11.69	-	13.42	54.33	13.74
ROA(総資産経常利益率)	(%)	2.5	1.7	0.8	-	0.4	3.4	2.9
ROE(自己資本利益率)	(%)	1.8	0.5	0.8	-	1.1	6.1	4.6
総資産回転率	(回転)	0.91	0.85	0.96	1.03	1.02	1.05	1.09
流動比率	(%)	260.71	241.80	215.60	162.95	158.83	159.89	170.67

有利子負債残高=短期借入金+長期借入金+社債+1年以内長期借入金+1年以内社債+リース債務+調整額

営業キャッシュ・フロー対有利子負債比率=有利子負債÷営業活動によるキャッシュ・フロー

フリー・キャッシュ・フロー対有利子負債比率=有利子負債÷フリー・キャッシュ・フロー

インタレスト・ガバレッジ・レシオ(営業CF)=営業活動によるキャッシュ・フロー÷利払い額

インタレスト・ガバレッジ・レシオ(フリーCF)=フリー・キャッシュ・フロー÷利払い額

ROA(総資産利益率)=経常利益÷((期首総資産+期末総資産)÷2)×100

ROE(自己資本利益率)=当期純利益÷((期首自己資本+期末自己資本)÷2)×100

総資産回転率=売上高÷((期首総資産+期末総資産)÷2)

流動比率=流動資産÷流動負債×100



## ご注意

本資料の予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

この資料で提供される全ての情報は、著作権法およびその他の法律により保護されています。無断での引用や転載、複製は禁じられております。